

# 主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	19058	森林環境創造事業	室名	森林林業室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	会計	01:一般会計
	基本施策	04:自然との共生	款	06:農林水産業費
	施策の方向	02:森林・里山・農地の保全	項目	01:農林水産業費
	戦略プロジェクト	01:まち守りプロジェクト	目	06:林業振興費
事業予定期間	H 14 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等	森林環境創造事業実施要領	

② 目的・概要	対象	認定林業事業体、森林所有者、市民
	目的	環境林については、森林の持つ公益的機能の向上を図る森林であり、針葉樹と広葉樹の混交林への誘導を行う。
概要	森林所有者から認定林業事業体が20年間の管理委託を受けた環境林に対し、間伐や植栽などの管理を継続的に行うことにより、公益的機能(水源かん養、土砂流出防備、二酸化炭素吸収による地球温暖化防止等)を効果的に発揮する針広混交林の森林づくりを行うものである。	

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	環境林 間伐面積 91ha		環境林 間伐面積 118ha	
	計画額	事業費	17,000千円	20,300千円
		国庫支出金	7,860千円	8,980千円
		県支出金	6,440千円	7,920千円
		地方債		
		その他		
	予算額	一般財源	2,700千円	3,400千円
		事業費	13,478千円	6,072千円
		国庫支出金	4,250千円	1,200千円
		県支出金	7,382千円	3,941千円
地方債				
その他				
一般財源	1,846千円	931千円		
期間内総事業費(H27・H28)①		37,300千円	期間外事業費(H29以降)② -	
			総事業費 (①+②) -	

				平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)	
④ 指標	① 補足	名称	環境林整備の年間実施面積	活動 計画値	91	118	118
		補足	各年度の間伐等の森林整備面積		単位	ha	ha
	② 補足	名称	環境林整備の認定面積	活動 計画値	800	810	820
		補足	各年度の環境林整備計画認定面積の累計		単位	ha	ha
	③ 補足	名称			計画値		
		補足			単位		
	④ 補足	名称			計画値		
		補足			単位		

# 事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	19058	森林環境創造事業	室名	森林林業室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財 会計	01:一般会計
	基本施策	04:自然との共生	務 款	06:農林水産業費
施策体系	施策の方向	02:森林・里山・農地の保全	科 項	01:農林水産業費
	戦略プロジェクト	01:まち守りプロジェクト	目 目	06:林業振興費

② 目的・概要	対象	認定林業事業体、森林所有者、市民
	目的	環境林については、森林の持つ公益的機能の向上を図る森林であり、針葉樹と広葉樹の混交林への誘導を行う。
概要	森林所有者から認定林業事業体が20年間の管理委託を受けた環境林に対し、間伐や植栽などの管理を継続的に行うことにより、公益的機能(水源かん養、土砂流出防備、二酸化炭素吸収による地球温暖化防止等)を効果的に発揮する針広混交林の森林づくりを行うものである。	

		27年度	28年度
①	名称	環境林整備の年間実施面積	計画値 91
	補足	各年度の間伐等の森林整備面積	実績値 80.67
			単位 ha
②	名称	環境林整備の認定面積	計画値 800
	補足	各年度の環境林整備計画認定面積の累計	実績値 793.54
			単位 ha
③	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績			
環境林 間伐面積 118ha				○環境林整備事業 間伐実施面積 18.84ha ○森林環境創造事業(交付金) 間伐実施面積 13.89ha ○森林環境創造事業(県単) 間伐実施面積 2.43ha			
④ 事業の計画・実績	事業費	計画額	予算額	人件費	総人件費 ①	2,197	平均給与額×③
		決算額	5,905		一般職員人件費 ②	2,197	
	国庫支出金	7,860	1,200	所要人員 ③	0.30		
	県支出金	6,440	3,941	臨時職員人件費 ④	0		
	地方債		0	受益者負担額 ⑤	0		
	その他		0	受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥		
	一般財源	6,000	931				
	再掲	翌年度への繰越額					
		前年度からの繰越額	0	0			
		総人件費	①	2,197			
	総コスト	⑥	8,102				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	国及び県の予算が年々減少するなか、国・県に対し環境林の間伐118haの事業要望を行ったところ、予算が確保できず35.16haの間伐に留まった。 また、認定林業事業体が、環境林の森林所有者に対し新規認定の働きかけを行ったが、事業の趣旨に賛同が得られず面積を拡大することができなかった。	総合判定 <b>C</b> あまり進まなかった
	【反省点・課題】	環境林整備計画の認定面積は13地区793.54haと市内の環境林約6,000haの約13%程度となっており、森林の持つ公益的機能の向上を図るためには、区域の拡大を図る必要があるが、県の方針により平成43年度で事業が終了となり、それ以降の方針も示されていない。また、認定区域の拡大も制限され、国・県の補助金も年々減少していることから事業としてジリ貧の状態であり、計画どおりの進捗が見込めない状況にある。	

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】	環境林の新規認定については、県の方針により平成33年度までとなっており、引き続き認定林業事業体とともに、環境林の森林所有者に事業の賛同を求めていく。 また、事業の進捗を図るため、平成43年度までは引き続き国・県に対し予算確保の要望を行ない、事業実施にあたっては、従来の森林環境創造事業(国交付金・県単)や環境林整備事業(国補)を活用するとともに、他の手法も検討し事業量確保に努める。
	事業目的の妥当性: 適切      有効性: 適切      最終評価確認者: 森林林業室長 村田 博	